

## Twitterによる情報発信について

高崎河川国道事務所 計画課 川那子 綾  
(現) 横浜国道事務所 工務課

### 1. 目的・背景

高崎河川国道事務所では、2014年4月より情報提供の充実を図るため、「ツイッター」の利用を開始した。

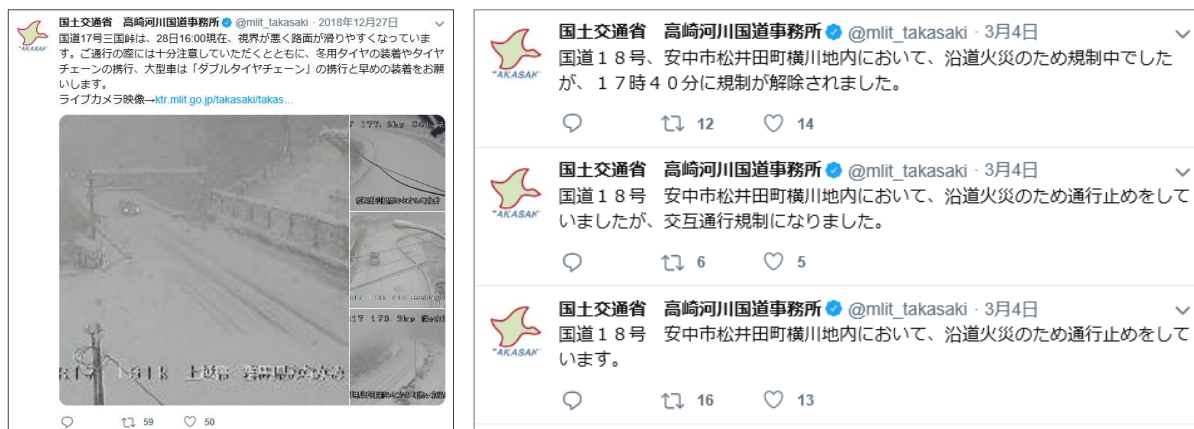
道路管理者として異常気象時や事故等の交通規制情報を広く周知することを目的としているが、日頃から利用者に分かりやすく伝わりやすいツイートを工夫して発信することで、フォロワーの増加やリツイートによる情報の拡散等を目指している。

### 2. 情報発信の工夫

道路利用者に迅速に伝わりやすい内容を提供するために、以下の項目について工夫をこらしている。

#### 2. 1 投稿文章の定型化

積雪情報や通行規制、事故情報等迅速に情報が求められる内容は、投稿する文章を事前に定型化することで文章構成時間から発信までのタイムラグを減らしている。



#### 2. 2 動画による情報発信

オプティカルドットを実際に走行した動画や除雪機械の紹介、現在進めている工事の作業状況をついートすることで、その場の臨場感を伝わりやすくしている。

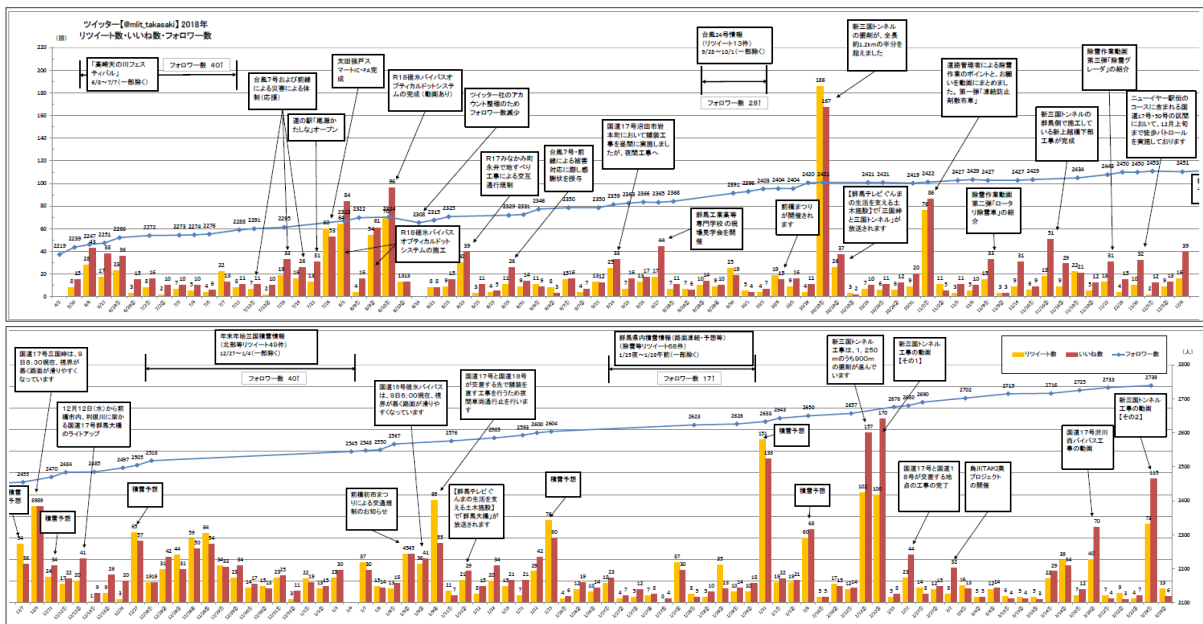
#### 2. 3 情報の拡散

近隣事務所や群馬県建設業協会等のツイートをリツイートすることによって、当事務所アカウントのフォロワーに群馬県内の道路や周辺地域の情報を提供している。



### 3. ツイート内容に対する反応

下のグラフは、当事務所アカウントの「いいね」「リツイート」「フォロワー数」の変位を表したものである。道路情報の発信は平均して関心が高かった。特に積雪の啓発ツイートはリツイート、いいねの数が多く道路利用者の関心の高さが伺える。動画による情報発信も反応が良かったが、先に投稿した動画と類似性が感じられるものに関しては反応が振るわなかった。しかし、継続的に情報を発信していくことで徐々にではあるが、フォロワーは着実に増加傾向にあることがわかる。



### 4. まとめ

ツイート内容に共感してもらいフォロワーを増やすことで、災害時や異常気象時の通行規制情報をリツイートしてもらう。交通規制情報が拡散するツイッターの情報発信効果は高いと考えられる。昨年度の当事務所アカウントのフォロワーは2018年4月の2219名から約500名増加し、2019年3月には2739名となった。今後も道路情報を140文字の短い文章の中で簡潔にわかりやすい投稿文章を工夫し、道路利用者にとって有益な情報を発信していきたい。